

令和7年8月27日

誰もが安心して楽しめる山岳観光を目指して ～令和7年度山岳遭難合同救助訓練開催～

福島市山岳遭難対策協議会では、遭難事故発生時における山岳遭難対策関係機関の連携向上、および実践的訓練を通じた山岳救助活動の技術向上を目的として、下記日程により合同救助訓練を開催いたします。

記

1 日 時

令和7年8月30日（土）

午前8時00分 浄土平ビジターセンター集合
一切経山周辺で訓練実施
午後3時30分 解散予定

2 場 所

浄土平ビジターセンター集合・解散

3 内 容

- （1）登山コースの地形状況把握（浄土平→酸ヶ平→一切経山付近の往復ルート）
- （2）遭難者への応急処置の確認
- （3）遭難者搬送（背負い搬送、ストレッチャー搬送）

4 参加機関

福島警察署地域課、福島北警察署地域課、福島県警察本部地域企画課、
福島県警察本部機動隊、福島県警察本部警備課、福島市山岳遭難救助隊

5 主催者

福島市山岳遭難対策協議会

6 その他

雨天決行。荒天の場合、前日正午までに実施の可否を判断します。
取材希望の場合は前日までに担当へご連絡ください。

担当：福島市山岳遭難対策協議会
（事務局：福島市観光交流推進室）
室次長 守山、観光企画戦略係長 野木
電話 024-515-6012（直通）

令和7年度 合同救助訓練スケジュール

時 刻	内 容
8/30 (土)	【集合前：体調不良の場合、参加を見合わせる事】
8:00	1 浄土平ビジターセンター駐車場 全機関集合 ① 点呼、装備品配布 ② 開会式 挨拶、諸連絡
8:15	2 訓練第1部：各手技の確認（浄土平ビジターセンター駐車場） ① 搜索要領（想定は霧のため目視約10m）（展示：民間） ② 遭難者への初期対応要領（展示：県警地域企画課等） ③ 遭難者への応急手当（熱中症、脱水症状、左足首骨折）（展示：民間） ④ ストレッチャー搬送・背負い搬送要領（展示：県警地域企画課等） ※ ②～④は、展示説明後に各班で練習を行う。 ※ 9:15訓練を終了し出発準備
9:30	3 一切経山迄の地形状況の把握 ① 浄土平ビジターセンターから一切経山まで（酸ヶ平で小休止）
11:00	4 山頂で昼食（11:00～11:45） 11:30要救助者役、遭難場所へ移動（高橋サブリーダー案内）
11:45	5 訓練第2部：実践想定訓練 ① 訓練開始 訓練想定 濃霧の中、若者2名が、登山装備なしで深夜に一切経山へ登山し、下山しようとしたところ道に迷い遭難した。朝になっても下山ルートが分からないうえ転倒し動けないと110番警察へ遭難した旨を通報した。 搜索活動を実施し、崖下で身動きできずにいる遭難者2名を発見。遭難者1名は、右足首を骨折している疑い、遭難者1名は、意識はあるが熱中症・脱水症状である。消防へ救急要請をしたが現場到着まで2時間以上かかる。 山頂付近はガスが濃く、ヘリでの救助が困難であるため地上部隊での救助活動とする。 110番通報位置 北緯37度44分3.08秒 東経140度14分50.04秒
12:00	② 要救助者発見 一切経山東斜面で要救助者2名を発見、初期対応を行い、右足骨折の要救助者の応急処置を行いストレッチャー搬送準備等を行い、熱中症の要救助者を背負い一切経山東斜面→一切経山頂付近→酸ヶ平避難小屋上部まで搬送訓練を実施する。 搬送は、隊員を交代しながらストレッチャーの1名及び背負い搬送の1名を搬送する。 また、要救助者を適宜交換しながら全隊員が搬送に関わることにする。
13:30	③ 搬送訓練終了（酸ヶ平避難小屋上部） 資機材撤収
14:00	④ 下山開始
15:00	6 浄土平ビジターセンター到着（集合場所） ① 装備品返却・検討会・閉会
15:30	解散